

## 「平庭の麓から」

文責：久慈市立山形小学校 校長 角谷 隆章

学校+保護者+地域=子どもの健やかな成長

「学び高め合う子」、「心豊かな子」、

「強くたくましい子」の育成をめざして

### 【学習発表会】

いよいよ明日が予行、そして明後日が本番となります。これまで子どもたちは、学級のみならず協力し、この日のために一生懸命取り組んできました。もしかしたら、今日あたりから緊張でドキドキしている子どもがいるかもしれませんが、ステージ上では、思いっきり、最高の表現をしてほしいと願うばかりです。

保護者の方々におかれましては、ぜひ、子どもたちの様子を直接みていただき、頑張る姿や成長した様子を感じ取ってくださればありがたいです。我々教職員は、会場内に子ども達の笑顔がいっぱいにあふれるよう、最大限のサポートをしていきます。

すでにお知らせした通り、今年度は新型コロナウイルスの関係で収容者数に制限があります。また、検温や換気、マスク着用等、これまでと同様の対策を講じながらの開催になります。子どもたちは客席ではマスクを着用し、ステージ上ではマスクを外して発表します。昨年度と同様に、全校合唱は、児童席にて、マスクを着用し、密を避け、飛沫を防ぎながらの発表になります。ご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

### 【校長先生はどう関わっているの??】

担任の先生が学習発表会にどう関わっているかはイメージがつきやすいと思います。

では、「校長先生は、このような学校行事の際、どのような関わり方をしているのか?」もしかしたら、そんなことを思う保護者の方がいるかもしれません。今は便利な世の中で、ネットで、『校長先生の1日』と検索すれば、一般的な仕事内容を知ることが出来ます。もちろん、人により、学校により、違いはありますが、興味のある方は思い出したときに検索してみてください。

さて、学習発表会のような学校行事に、校長はどのように関わっているのでしょうか? 当日の「校長先生のあいさつ」はわかりますよね。でもこれだけ??

これも、人により、学校により、違いはありますが、私(角谷)がどう関わっているのか、その一端をお教えしましょう。一番わかりやすいのは、“校長室だより”をみていただくことです。「“校長室だより”?これ(平庭の麓から)がそうなのでは?」いやいや、違います。実は、教職員向けの校長室だよりは昨年度から発行しています。昨年度のものですが、その一部を紹介しましょう。

以下、昨年度の校長室だよりから抜粋

### 【佳境の4日間です】

今日から、ほーる練習、予行、ほーる練習、そして本番となります。「学習発表会」の取組もいよいよ佳境に入りました。明日の予行は一通りみて、気づいたことはお伝えしますが、細かいことは言わないつもりです。子どもたちと担任の先生でつくりあげる発表は一つの世界です。

「管理職からのアドバイスがほしい」などという考え方もあると思いますが、正直、そこにあまり手をつけたくないのが私の本心です。(学校での練習もあまりみていません。私の気持ちとしては、本番だけを見て、新鮮に何かを感じたいのですが、教職員の一員ですので、そうはいきませんよね)

“今まで”(指導の過程でいろいろあったと思います)、そして、“今から”(佳境の4日間)、子どもたちと担任の想いを結集して、当日を迎えてほしいと思っています。それら全部含めての発表=作品=学習の成果なのです。今年、本校の教職員に、校長から細かく指導を入れなければ、発表にこぎつけないという方はいません。むしろ、どんな仕掛けをして、どんな発表になるか、その手腕を当日、見ることを楽しみにしている自分がいます。

子どもを信じて、己を信じて、まわりの先生方といっぱい話して、当日は思う存分に表現して（させて）ほしいと願うばかりです。佳境の4日間、よろしくお願いします。

### 【当日は】

土曜日はよいよ学習発表会当日です。子どもたちには、感謝の念をもちつつ、これまでの練習の成果を発揮すべく、思う存分に、ステージ上で輝いてほしいと思っています。

自分の思うようにできない子どもがいるかもしれません。逆に練習以上にうまくできる子どもがいるかもしれません。共通しているのはどちらも一生懸命やったこと、そういう努力をしたということになると思います。それは、手を抜いて本番を迎えるような子どもや、雰囲気は今の山形小学校には微塵も感じられないから言えることです。

これは、最上級生がしっかり落ち着いてやってきていることがそうさせているのだと思います。この姿や形はやがて5年生へ、4年生へ……下級生へと引き継がれていくことでしょう。

どんな発表になるか、ドキドキわくわくしますよね。どんな発表になろうが、先に述べた通り、一生懸命やったこと、そういう努力をしたことを終了後、ぜひ称えてください。その言葉がけは、一番近くで様子をみてきた担任の先生にしかできないことです。どうぞよろしくお願いします。

### 【前日の終わりを大事に】

明後日の帰りの会の言葉がけ。あれこれ言いたくなるころはグッと抑えて、つべこべ言わず、「(ここまで)やるだけやった。あとは、思う存分やるだけだ！先生も楽しみにしているよ！頑張ろう！！(オ～！！)」という言葉がけで締めることができればいいなあって、思います。

担任の先生のやり方があるのでお任せしますが、当日に向けて前向きになれるような前日の終わり方にしてもらえればと思います。改めてよろしくお願いします。

いかがでしょうか？このようなおたよりを出して、必要に応じて、個々の先生、個々の子どもに声かけをするというのが私の学校行事への関わり方です。

私は担任時代、学級通信を使って、学級経営をしてきた人間です。これが、身体に染み付いているようです。校長になったからといって、このスタイルは変わりませんでした。もちろん、今年もこのようなスタイルで進めてきています。明日、そして明後日の発表が楽しみです。

「学校の先生という仕事の重要性や在り方、目的等を考えると、先生の中で一番偉いのは、子どもに一番近く、最前線で指導にあたる担任の先生である。だから思い切って仕事をしてほしい」と私は、常々、教職員に話しています。もちろん、学校経営における最終責任者は校長ですが、普段の学校生活は、担任と子どもとの良好な関係が築かれてこそ、充実するものですし、それが子どもの大きな成長につながるのです。担任以外の教職員は、様々な角度からサポートする。これが、お互い、うまく作用することで、教育目標（本校は学び高め合う子、心豊かな子、強くたくましい子）が達成されていくと考えています。

このような話をしたのは、保護者の方々に私の考えを知っていただいた上で、改めて、学級担任のよきパートナーになっていただきたいからです。お互いに、子どもの成長を第一に考え、しっかりと連携を図っていくということです。これができれば、子どもの心は安定し、さらに成長していくことでしょう。

担任からは、これからも通信や連絡帳、電話等で様々お伝えし、相談事があれば、直接話をさせていただきます。保護者の方々も、遠慮せずに担任に伝えたり、話したりしていただければありがたいです。もちろん担任だけではありません。内容によっては、担当者、養護教諭や副校長、校長でもいっこうにかまいません。学校と保護者（家庭）、地域が一体となり、子どもたちの健やかな成長につなげていきたいのです。どうぞよろしくお願いいたします。

今日は私の思いや考えを一方向的に述べる形になりましたが、こんな号があってもいいかと思い、発行しました。これからもジャンルを問わず、不定期で発行します。おつきあいの程を……。